

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 東松島市

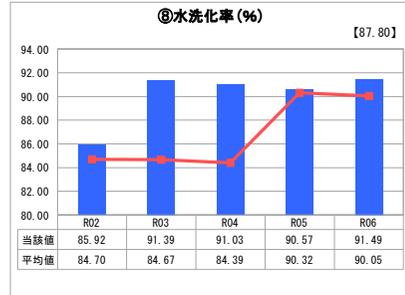
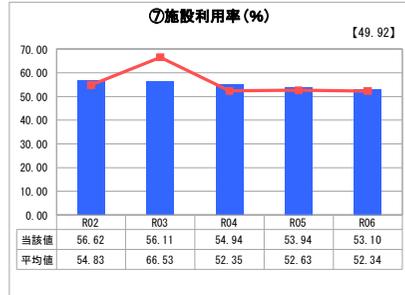
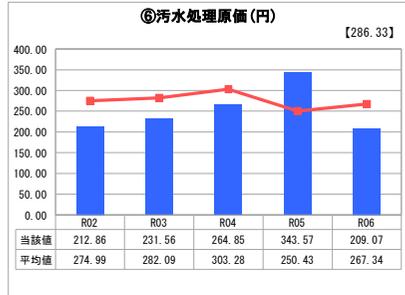
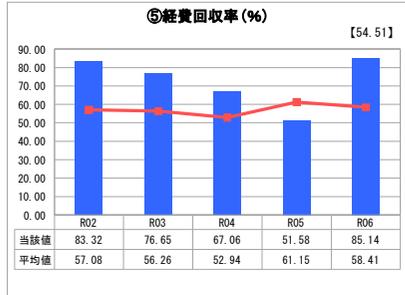
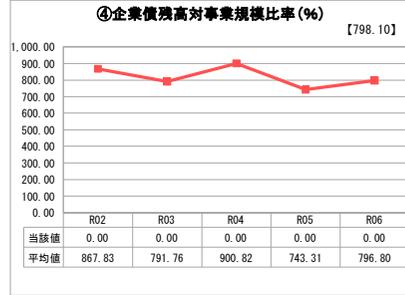
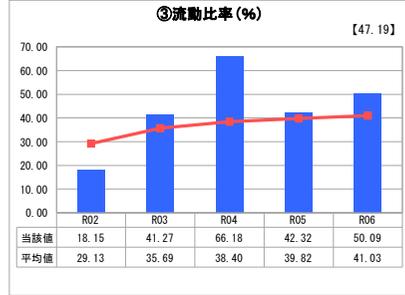
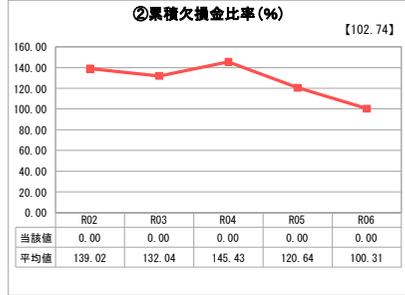
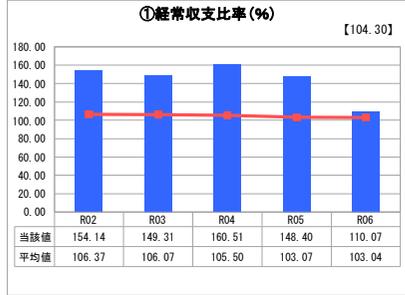
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.63	3.93	100.41	3,575

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,875	101.30	373.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,481	2.36	627.54

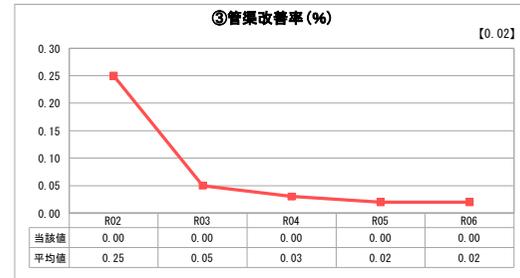
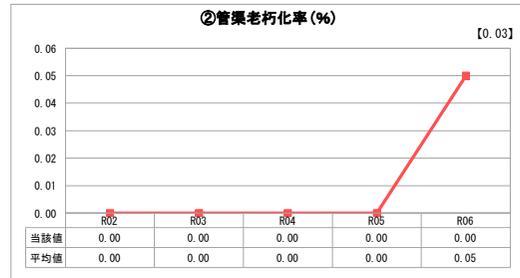
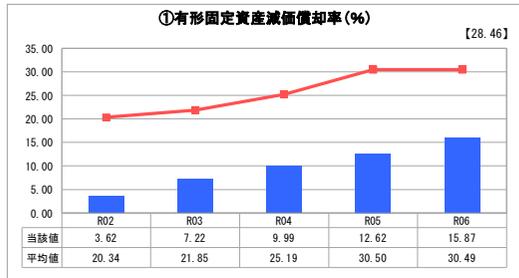
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
前年度と同様に100%を超えているものの、一般会計繰入金による収入が大きな要因となっている。
- ②流動比率
類似団体平均値を上回っているが、今後も現金預金残高を維持するため経費削減に努める必要がある。
- ③経費回収率
100%を大きく下回っているものの、類似団体よりは上回っている。令和6年度の比率が増加した要因は汚水処理費用（人件費の減額）が前年度から減少したことによるものである。今後も業務の効率化や経費削減等に取り組むとともに、使用料収入の確保に努める必要がある。
- ④汚水処理原価
前年度より大幅に減少している。減少の要因は汚水処理費用（人件費の減額）の減少によるものである。今後も経費削減等に取り組むとともに、使用料収入の確保に努める必要がある。
- ⑤施設利用率
類似団体平均値と同水準であり、前年度から微減している。
- ⑥水洗化率
前年度と比較して若干増加しており、類似団体平均値よりも高い水準となっている。今後も継続して普及啓発事業等により接続推進に努め、水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体平均値を大幅に下回っているが年々増加傾向にある。
- ②管渠老朽化率及び③管渠改善率
管渠を整備してから耐用年数の半分を経過していることから、中継ポンプを中心に改築更新等を随時行っている。今後も適正管理を徹底し、計画的な更新を行っていく。

全体総括

経営状況については、経常収支比率が100%を超えているものの、経費回収率が100%を下回っているため、汚水処理費の財源を一般会計からの繰入金で賄っている状況にある。また、人口減少による下水道使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う修繕費用の増大等、今後経営環境がより厳しくなることが想定される。

今後、事業運営に係る経常的な費用の削減と施設の計画的かつ効率的な更新事業を実施するとともに、東松島市下水道基本構想に基づき北上川下流流域下水道に接続を予定している。引き続き健全な経営が維持できるよう努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。